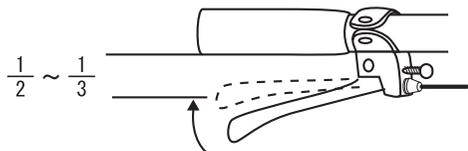


## ● ブレーキの調整-① ※図のパーツは代表的な形状のものです。実際のものとは仕様異なる場合があります。

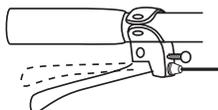
ブレーキは自転車を安全に乘るために一番大切なものです。  
いつも最高の性能が発揮できるように乗車の前には必ず点検してください。



ブレーキレバーを操作し、レバーの開きが1/2~1/3位でブレーキが効くようにしてください。

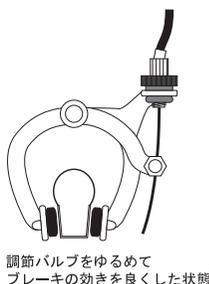
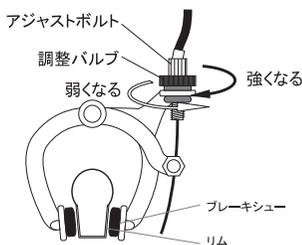
### 適正なブレーキレバーの開き

ブレーキレバーとグリップとの適正間隔は、ブレーキをかけていない状態で、グリップを握ったまま2本または3本の指の第一関節でブレーキレバーを巻き込む事のできる幅に調節します。



### キャリパーブレーキタイプ

ブレーキの効きが悪い場合、片方の指でアジャストボルトを押さえ、もう片方の指で調整バルブを「ゆるむ」の方向へ回し、逆に、ブレーキの効きが良過ぎる場合は、「締まる」の方向へ回して調整してください。  
この場合、調整バルブを時計回りに回すとリムとブレーキシューの間隔が狭くなり、調整バルブを反時計回りに回すとリムとブレーキシューの間隔が広くなります。

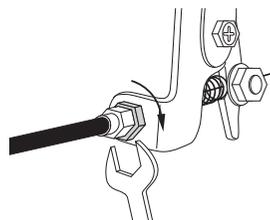
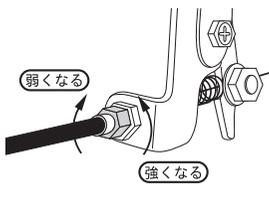
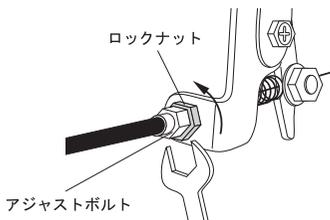


### バンドブレーキ、ローラーブレーキの調整（後ブレーキ）

ロックナットをスパナで反時計回りに回し（アジャストボルトが密接している場合はアジャストボルトも）、アジャストボルトを回して調整します。このとき、アジャストボルトを時計回りに回すとブレーキが強くなり、反時計回りに回すとブレーキが弱くなります。

調節後は必ずロックナットをしっかり締めてください。

あまりブレーキを効かせ過ぎますとドラムとライニングが接触し、車輪の回転が重くなりますので注意してください。



①ロックナットを反時計回りに回して解除。

②アジャストボルトを時計回りに回すとブレーキが弱く、反時計回りに回すとブレーキが強くなる。

③調整後ロックナットを時計回りに回して固定。



注意

乗車する際は各部のガタ、ゆるみがないか確認してください。  
ガタ、ゆるみのある場合は再度各部の締め付けを行ってください。